

7 人権問題に対する意識と行動—＜視点5＞

人権問題について高い意識を持っている人が、たとえば、差別発言があった時に行動に移すことができているのかどうかを検討します。

表7-1は、だれかが同和地区の人に対する差別的な発言をした時の態度(問21)と、「排除問題意識」、「体罰問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「結婚排除否定意識」、「反忌避意識」、「反集団優遇イメージ」、「人権交流イメージ」との関連をみたものです。

表7-1 だれかが差別的な発言をした時の対応と人権意識

だれかが差別的な発言をした時		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識	反集団優遇イメージ	人権交流イメージ
問21.1差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う	平均値 度数 標準偏差	3.4 62 0.6	2.5 64 0.9	4.1 62 0.7	3.3 62 1.1	3.6 62 1.0	12.6 63 1.7	3.7 63 1.1	2.5 63 0.8	3.3 62 0.8
問21.2表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする	平均値 度数 標準偏差	3.2 222 0.6	2.5 225 0.9	4.1 216 0.7	3.0 214 1.0	3.6 217 0.8	12.5 217 1.6	3.2 215 1.1	2.5 206 0.8	3.1 207 0.7
問21.4ほかの話題に転換するよう努力する	平均値 度数 標準偏差	3.0 110 0.5	2.4 110 0.8	3.9 107 0.8	2.8 106 0.9	3.2 108 0.9	11.9 112 1.6	2.8 111 1.1	2.4 107 0.8	3.0 107 0.7
問21.5何もせずに黙っている	平均値 度数 標準偏差	2.8 97 0.7	2.4 99 0.9	3.7 96 0.8	2.7 95 0.9	3.3 96 0.9	12.1 98 1.8	2.6 96 1.1	2.5 94 1.0	2.9 90 0.7
問21.3表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉を口にしたりしてしまう	平均値 度数 標準偏差	2.7 27 0.7	2.2 27 0.9	3.3 25 0.9	2.5 26 0.7	2.4 26 0.9	11.4 26 2.0	2.0 26 0.8	1.8 25 0.7	3.0 25 0.7

「排除問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「結婚排除否定意識」、「反忌避意識」、「人権交流イメージ」が高いほど、差別的な発言に対し積極的な態度を取ることがわかります。

他方、「表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉を口にしたりしてしまう」という人は、そうでない人よりも「排除問題否定意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「反忌避意識」が統計的に有意に低いことがわかります。

【知見】

- 「排除問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「結婚排除否定意識」、「反忌避意識」、「人権交流イメージ」が高いほど、誰かが差別的な発言をした時に積極的な態度を取る傾向にある。

また、これらの人権意識の中で、積極的な態度につながる傾向の高い意識は何かを探るために、「誰かが差別的な発言をした時の態度」を「従属変数」とし、これらの人権意識尺度を「独立変数」として「重回帰分析」を行ったところ、表7-2の結果を得ました。

なお、「従属変数」は、上記の知見に基づき、選択肢の順序を換えた「順序変数」として用いています。

表 8-2 「誰かが差別的発言をした時の対応」の重回帰分析

係数¹

モデル	非標準化係数		標準化係数		有意確率
	B	標準誤差	ベータ	t	
3 (定数)	5.074	.297		17.105	.000
反忌避意識度	-.234	.045	-.253	-5.206	.000
人権推進支持意識	-.253	.067	-.183	-3.786	.000
排除問題意識	-.240	.091	-.135	-2.631	.009

1. 従属変数: q21問17誰かが差別的な発言をした時

「重回帰分析」における決定係数 $R^2 = .176$ と、説明力は高くありませんが※、ベータ値の絶対値の大きさにより、「反忌避意識」、「人権推進支持意識」、「排除問題意識」の順に、差別的な発言に対する積極的な態度に影響していることがわかります。

※1 に近づくほど「当てはまりが良い」と判断されます。

【知見】

- 差別的な発言に対する積極的な態度については、「反忌避意識」、「人権推進支持意識」、「排除問題意識」の順に影響力が強い。